

ルーピンの里だより

2020
下半期

ふれあい



表紙の案内

表紙の写真は、49匹の蛙が描かれたタペストリーです。昨年の12月末、「山口年子」様から寄贈された物です。「49」の意味など、詳細は2Pをご覧ください！

目次 Contents

- 理事長あいさつ 表紙の案内 2面
- 従来型 下半期の様子 3面
- ユニット型 下半期の様子 4面
- デイサービス 下半期の様子 5面
- グループホーム大崎 下半期の様子 6面
- 居宅、介護支援事業所より 7面
- 詐欺被害に気をつけましょう 8面



「ふれあい号」は日本財団からの寄贈車両です。



RING!RING!
プロジェクト
競輪の補助事業

ルーピンの里は日本自転車振興会の補助物件です

令和2年度を振り返って

コロナ禍での一年を振り返りますと、利用者様には大変不自由な生活を強いられた一年だったように思われます。またご家族や地域の皆様に対しましても慣れ親しんだ人に会う事もかなわない淋しい思いもたくさんされたのでは無いでしょうか？

そのような中で介護施設に働く職員も大変な苦労の連続でありました。まずは感染予防対策の徹底でした。全職員 of 体温測定と報告の義務化を行い体調管理の徹底をお願いし、手洗いや手指消毒の徹底はもちろんの事、人が触るドアノブなど1日2回清掃消毒等を行える感染予防に努めてきました。また、感染地域の人の往来にも気を使って参りました。このことは職員一人一人の協力が必要でした。本当にありがたいと感謝いたしております。おかげさまで、今のところ施設関係者での感染者は発生しておらずいよいよワクチン接種を迎える事ができそうです。一日も早く元の生活に戻るように最後まで気を緩める事無く取り組んで参りたいと思います。

社会福祉法人福寿会 理事長 福留 利郎

蛙のタペストリー*

園長の御友人で志布志生まれ大阪在住の山口年子さんが描いたこの作品は、プレゼントとしてルーピンの里に届けられました。現在、正面玄関に飾っております。

彩り豊かで、見る人を和ましてくれます。制作にあたっては、満月の日に書いて、新月の日に色を塗るといふこだわり様で蛙が和紙から飛び出してきたような描写です。

コロナ禍で頑張っている職員・利用者様を「笑顔にしたい」との思いで描かれたそうです。49匹の数字の意味は「幸せ来る」という意味があるそうです。

この話を聞いた4月9日生まれの職員は、4や9の数字に対しマイナスのイメージを抱いていましたが、この意味を知ってからポジティブに考えることが出来るようになったようです。

山口さんは、この他にも慰問や手作りマスクの寄贈などルーピンの里の為に幅広くご支援して下さいます。この場を借りてお礼申し上げます。いつもありがとうございます。

是非、皆さんも数えてみて下さい。

*タペストリー…壁掛けなどに使われる

室内装飾用の織物の一種



お便り



今年度は、新型コロナウイルスの影響により、利用者様とご家族の面会が制限されてしまいました。従来型では、不定期ではありますが、利用者様の御家族に日常の写真や様子を文章にした「おたより」を作成し、お送りしています。その結果、「なかなか会えないので顔を見ることが出来て良かった」との声を頂いています。これからも、ご家族の皆様が利用者様を少しでも身近に感じて頂けるように取り組んで参ります。



2月2日(節分)



今年の節分は、12年ぶりに例年より1日はやい2月2日でした。調べてみると、明治30年になるそうです。

従来型では、利用者様・職員を交えて豆まきを行いました。男性職員が鬼役となり、新聞紙を丸めて作った代替えの豆を皆で投げ、「無病息災を祈りました」。今年の恵方である「南南東」を向いて食べることは出来ませんでした。昼食に恵方巻を頂きました。



もうすぐ1年

勤務をさせていただき、もうすぐ1年を迎えます。初めの頃は、覚える事がいっぱいで大変でしたが、仕事の内容が理解できるようになり、少しずつ余裕ができました。

知らない言葉や方言が沢山あるので、今でも言葉の壁があります。その都度聞きながら理解するようにしています。日本語は難しいですが、利用者様とコミュニケーションをとるのは楽しいです。レクレーションや誕生日会といった行事も、利用者様と一緒に参加する事で交流が図れ、自分自身の勉強になっています。

フォン



ルーピンの里で勤務をさせていただき、4月で1年を迎えます。初めの頃と比べると、少しずつ日本語を覚えることが出来ているのかなと思います。

日々の業務の中で「安心・安全」なサービスを提供するには、一つ一つのケアを確実に行うことが大切だと学びました。

今後も、利用者様が安心して快適に生活できるようなサービスの提供に努めたいと思います。

ハイン



ユニット型 下半期の様子

1丁目

ハロウィンパーティー

日本でもイベントとして定着してきたハロウィン。ユニット合同でハロウィンパーティーを行いました。秋祭りが中止になった為、ヨーヨー釣りや野菜のつかみ取りなども併せて行いました。職員の余興なども披露し笑いの絶えないパーティーとなりました。



コスモス見学

今年、池之原の田んぼにコスモス畑ができました。噂を聞いて駆けつけてみると綺麗なコスモスがたくさん咲いていました。新型コロナウイルスの影響により外出が出来ていなかったため、外の空気がとても気持ちよかったです。



2丁目

ナポリタン作り

2丁目でお馴染みのホットプレートを使用した家庭料理作りですが、今回はナポリタンに挑戦しました。ホットプレートから漂う匂いや音に利用者様も大喜び。普段よりたくさん食べられていました。



誕生日会

誕生日と言えばケーキですよ！お菓子作りの得意な職員が、いちごのショートケーキを作ってくれました。果物が沢山のとっており、見栄えもボリュームも最高でした。多くの方から祝福があり、楽しい誕生日会を行うことができました。



3丁目

書初め

新年の恒例行事、書初めを今年も行いました。好きな言葉を自分で書いたり、書いてもらったり。ユニークな文字が毎年飾られます。



節分

「節分」と聞くと、春の訪れを感じます。毎年、事業所毎に豆まきを行っています。職員が鬼の役を演じて飛び出すと、一斉に豆が投げられます。普段大人しい方もこの時ばかりは豹変します。コロナの終息を願う日々です。



デイサービス 下半期の様子

縁日祭

今年は、新型コロナウイルスの為、秋祭りを開催することができませんでした。そこで、利用者様に少しでも楽しんでいただきたく、縁日祭を計画しました。お菓子の魚釣りゲームや輪投げなどの縁日遊び、おやつに、フライドポテト、たこ焼き、綿菓子を食べ、雰囲気を楽しんで頂きました。



コロナの収束を願って

今年の干支である「丑」の壁画作成を行いました。ダルマ形のウシです。利用者様は花紙を丸めたり、折り紙を貼ったり、楽しく作業されていました。



一月…近くの神社に皆さんの健康とコロナの収束を願ってお参りに行きました。

レクリエーション活動

デイサービスにお手玉が無く、困っていたところ、裁縫の得意な様より、手作りのお手玉を頂きました。

早速、レクリエーションの時間に大活躍しています。左の写真は、細い布の端を二人で持つてもらい、布の上にお手玉を乗せるゲームです。簡単にみえますが、バランスが難しく、油断するとすぐ落ちてしまいます。写真は、三人の息がピッタリと合い端から端まで載せられた時の一枚です。悪戦苦闘しながらも夢中で楽しまれていました。

全集中!



息を合わせて

懐かしいおやつ作り

おやつ作りで蕎麦がきを作りました。シンプルな作りですが、慣れない職員にとっては、意外と作るのが大変…。なかなか混ぜることができません。利用者様は、慣れた手付きであったという間に作られていました。「懐かしい」「美味しい」と、とても喜ばれていました。



特浴機導入しました

12月より、皆様に安心して気持ち良くお風呂に入って頂く為に特浴機を導入しました。入浴キャリーに座ったまま、洗身して入浴することが出来ます。利用者様より、「ゆっくりに温まれて良かった」ととても喜ばれています。



グループホーム大崎 下半期の様子

秋祭り

新型コロナウイルスの影響により、行事・外出の自粛など利用者様には我慢の生活が強いられました。この様な中、グループホーム大崎では、独自で秋祭りを計画しました。緣日気分を味わって頂くために輪投げやボーリングをし、駄菓子を食べたり、目の前で焼きそば・焼き鳥を焼いて食べました。施設内もお祭りに寄せて風船などで飾り付けを行ったところ、利用者様からも好評でした。



クリスマス会

今年のクリスマスも理事長サンタがグループホーム大崎に来てくれました。サンタさんが配るのはお楽しみ袋。中には何が入っているのでしょうか？開けてからのお楽しみですね！。そして昼食は豪華なクリスマスプレートで、ピザにチキンライス、ミルクスープなど普段とは違ったメニューで箸も進み、皆さんとても喜ばれていました。



お正月

元日、グループホーム大崎では皆でおせち料理を頂きました。毎年おせちは職員の手作り、今年のおせちも美味しかったです。



お屠蘇

お正月にお屠蘇を飲む習慣は中国で始まったと言われています。邪気を払い無病長寿を祈り、心身ともに改まるうと願いを込め、お屠蘇をいただきます。



居宅介護支援 事業所より



介護保険法の2021年改正・ 施行のポイント

2022年は団塊の世代が後期高齢者に突入する年でもあり、支え手不足により介護保険制度の財源がより圧迫される見通しです。

改正案の大きなテーマは以下の5つです

- 地域ケアシステムの推進
- 自立支援・重度化防止の推進
- 介護人材の確保・介護現場の革新
- 制度の安定性・持続可能性の確保
- 感染症や災害への対応力強化

新型コロナウイルスの流行や災害頻度の高さを鑑みて感染症や災害の強化もテーマに加わりました。

ポイントの紹介



①高額介護サービス費の上限額を引き上げ

高額介護サービス費とは、月額の自己負担額が上限額を超えた場合、超過分の払い戻しが受けられる制度です。これまで「本人または世帯全員が住民税課税者」の自己負担額は一律4万4000円でしたが、年収に応じて上限額を引き上げる方針です。

②8050問題対策も兼ねた地域包括支援センターの強化

「8050問題」をご存知でしょうか。現在、中高年の引きこもりは60万人以上。80代の親と50代の引きこもりの子どもが、社会から孤立してしまうことが深刻化されています。親の介護と子の生活維持の問題が同時に起こりますが、相談窓口もなく、結果悲劇的な事件が発生しているのが実情でしょう。その対策として、介護・障害・子ども・困窮の相談支援に関わる事業の役割を地域包括支援センターなどに一本化します。「断らない相談支援」を目指し、就労支援・居住支援・居場所機能の提供など、多様な支援を提供します。とはいえ、実施については強制的ではないため、浸透するかは自治体に委ねられています。

③社会福祉連携推進法人の創設

新たな法人形態である「社会福祉連携推進法人」を創設。社会福祉連携推進法人は、社会福祉法人を中心として、NPO法人や株式会社などが社員として参加し、地域の福祉を支えていきます。スケールの大きさを生かし、経営の強化はもちろん、深刻化する介護人材不足を緩和する一手としても期待できるようにしよう。

④通いの場の推奨

介護保険制度を持続可能性の高い制度にするためにも、高齢者の介護度の重度化は避けなければなりません。そこで国は「通いの場」を推奨しています。

通いの場とは、住民主体で運営している高齢者が運動や趣味活動を気軽に楽しめる場です。高齢者が「通いの場」へ足を運ぶことで、介護予防、認知症予防、QOL(生活の質)の向上が促されます。結果、保険給付が抑えられることも狙いでしょう。今後、通いの場を拡大させるためにも、類型化やポイント付与、有償ボランティアの推進など、介護保険制度で仕組み作りを整備していく予定です。

⑤介護事業所におけるICT導入の利用推進

介護事業所におけるICT導入は業務負担の軽減や業務効率化につながるため、以前から厚生労働省は推奨しています。

⑥新型コロナウイルス感染症によるコスト増加を踏まえた補助金

新型コロナウイルスの流行により、職員の業務負担が増加していることを踏まえ、介護事業者への補助上限額を引き上げる見通しです。対象経費はタブレットやスマートフォンなどのハードウェア、ソフトウェア、クラウドサービス、保守・サポート費、導入設定、導入研修、セキュリティ対策などが挙げられます。

*ワクチン接種も始まりました。少し目の前が明るくなってくるのではないのでしょうか。もうしばらくは、「三密」「三黙」「手洗い・消毒」を徹底して、乗り越えましょう。





詐欺被害に気を付けましょう!



現在、鹿屋・肝付地域において送り付け詐欺の被害が出ているそうです。

この詐欺の内容は、注文していない商品を勝手に送り付け、その人が断らなければ買ったものとみなして、代金を一方的に請求する詐欺です。

もし、身に覚えのない商品が届いたときは
商品を受け取らない ②代金は払わない ③使わない
ようにして家族や下記の相談窓口にご相談しましょう。



相談窓口 消費者ホットライン 188
警察相談窓口 #9110

オンライン面会のご案内

上半期号でもご案内しておりましたが、現在も新型コロナウイルス感染防止の為、緊急やむを得ない場合を除き、面会の制限を行なっているところです。御利用者様、ご家族の皆様にはご心配、ご迷惑をおかけしております。引き続きオンラインでの面会を行なっています。FaceTimeやZOOMアプリを利用した面会が可能です。手順についてのお問い合わせやご予約につきましてはルーピンの里にご連絡ください。

編集後記

2020年下半期号いかがだったでしょうか

県内でも11月に入り、新型コロナウイルス感染者が増え始め、1月に入ると大隅半島でも幾つかのクラスター発生がありました。ルーピンの里職員も施設内に新型コロナウイルスを持ち込まないよう、職員一人一人が感染予防の取り組みを徹底してきました。2月に入りワクチンの予防接種が医療関係者から始まったことがニュースで報道されています。今後は65歳以上の方、基礎疾患のある方と接種が進んでいくと思います。利用者様とご家族が直接会って、手を握りながら面会ができる日が一日でも早く訪れる事を願い編集後記とさせていただきます。

広報委員会 副委員長 黒木 薫

福寿会の事業所

- 介護老人福祉施設
- 短期入所生活介護
- 通所介護事業
- 居宅介護支援事業
- 訪問介護事業
- グループホームるーぴんのさと 東串良 大崎
- 東串良町在宅介護支援センター

広報誌「ふれあい」はホームページでもご覧になれます。 <http://ru-pin.jp>